

案件

高齢者施策の取組実績と今後の取組について

健康福祉政策課
健康福祉総合相談課
健康づくり課

1. 政策等の背景・目的及び効果

健康福祉部では、高齢者が、可能な限り住み慣れた地域で、生きがいをもって暮らし続けることができるよう、地域や関係機関と連携しながら、認知症に関する理解促進や予防、早期発見などの取組や、権利擁護支援の一環として実施した身元保証や死後事務委任などの取組、また、身近な場所にある新たな介護予防拠点である「街かど健康ステーション」の取組など、高齢者施策を推進しています。

この度、令和6年度（2024年度）に新たに実施したこれら取組の実績と、今後の取組について報告するものです。

2. 内容

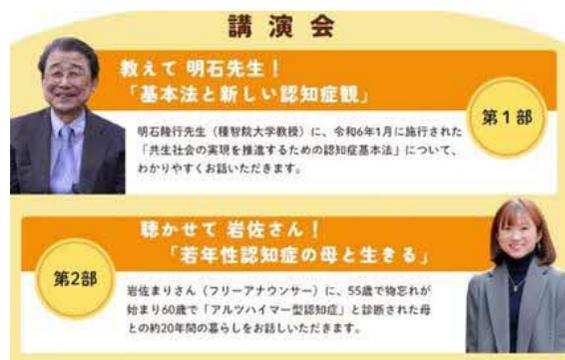
(1) 認知症施策の推進

①認知症の理解の促進

ア. 認知症基本法と新しい認知症観

認知症の人を含めた共生社会の実現を推進するための「認知症基本法」の理念と、「認知症になってからも、一人一人が個人として、できること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間とつながり、希望をもって自分らしく暮らし続けることができる」という「新しい認知症観」の理解を深めるため、大学教授による認知症基本法の解説と当事者家族の体験談を聞く「勉強会」、認知症当事者や家族等も参加できる「オレンジレセプション」を開催しました。

参加された方からは、認知症の理解の促進はもとより、「実体験をもとに話を聞いたので参考になった」、「家族や身近な方の接し方が大切だと思った」などのご意見をいただきました。今年度は、認知症当事者の実話をもとにした映画の放映を予定するなど、引き続き、認知症基本法の主旨や「新しい認知症観」の理解促進に取り組めます。



▲オレンジレセプションの様子

▼枚方市認知症施策推進キャラクター
『のうむ』



	基本法について理解を深めるための勉強会	オレンジレセプション
日 時	令和6年12月8日(日)14時～16時	令和7年2月6日(木)13時半～15時
会 場	枚方市立総合文化芸術センター 別館6階 大会議室	枚方市立総合文化芸術センター イベントホール及び創作活動室
参加者数	122人	137人
内 容	種智院大学 明石隆行氏 「認知症基本法についての講義」 フリーアナウンサー 岩佐まり氏 「認知症の母親との生活体験」	認知症当事者 丹野智文氏による講演 生花パフォーマンス 等
参加者の声	<p>アンケート回答者 110人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても参考になった 50% ・参考になった 39.1% ・認知症に関する理解が深まった 48.2% ・やや深まった 43.6% <p>◇アンケートでの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近の動向がよくわかった。 ・実体験をもとに話を聞けたので参考になった。 ・新しい認知症観を知ることができた。など 	<p>アンケート回答者 121人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても良かった 78.5% ・良かった 13.2% ・本イベントをきっかけに「新しい認知症観」を知り理解できた 83.5% <p>◇アンケートでの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症当事者の意見が聴けて良かった。 ・認知症の方でも失敗を成功に変えていくことが大切だと感じた。 ・生花パフォーマンスが素晴らしかった。 ・認知症当事者の話に涙が止まらなかった。 ・家族や身近な方の接し方が大切だと思った。など

イ. 当事者や家族等の意見の把握

令和9年度から11年度（2027年度から2029年度）の3か年を計画期間とする、「高齢者保健福祉計画21（第10期）」に「認知症施策推進計画」を包含するため、認知症の当事者や家族から本市の認知症施策等について意見を聴く場を4回開催しました。

当事者からは「もっと人と話せる場を提供してもらいたい」などのご意見、当事者家族からは「近所の人等から認知症のことを言われるのがつらい」などのご意見がありました。

今年度におきましても、引き続き、こうした取組を継続するとともに、当事者や家族を対象としたアンケート調査を実施し、今後の認知症施策の検討に役立てます。

【意見を聴く場】

	開催日	参加者内訳
第1回	令和6年11月21日(木)	当事者3人・家族3人（在宅3人）
第2回	令和6年12月12日(木)	当事者4人・家族2人（在宅3人・施設入所1人）
第3回	令和7年2月13日(木)	当事者7人・家族10人（在宅2人・施設入所5人）
第4回	令和7年3月6日(木)	当事者4人・家族2人（在宅1人・施設入所3人）
当事者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと人と話せる場を提供してもらいたい ・手話通訳に月1回～2回通っている。私のことをわかってくれている昔から知っている人がいる。自分に負担がかからないようにしている。 ・言いたいことが言えた。いつもは言わせてもらえないから。など 	
当事者家族の声	<ul style="list-style-type: none"> ・近所の人等から認知症のことを言われるのがつらい。 ・デイサービスなど介護サービス等を利用することで心にゆとりができた。 ・このまま認知症が進んだ時に共倒れになると困る。今のうちから今後のことを決めて動いた方がいいかと思っている。子どもも心配してくれて、相談にも乗ってくれているので助かっている。など 	



▲認知症当事者とのミーティングの様子

ウ. 企業の認知症理解に向けた支援

「ひらかた健康優良企業（※）」に対して、認知症の症状や予防方法などの認知症に関する理解とともに、家族の介護をきっかけとした離職防止、当事者の就労継続など、サポートする制度づくりへの働きかけを行いました。

今後は、当該企業を対象に実施している「健康講座」に、本内容を新たなメニューとして加えるとともに、企業の勤務形態に合わせた開催時間や場所を工夫するなど、柔軟に対応することで、引き続き企業における認知症理解に向けた働きかけを行います。

加えて、「日本認知症官民協議会」が進める「認知症バリアフリー宣言」を推進するため、同制度の紹介ページを市ホームページ内に作成しました。引き続き、認知症の人やその家族の方々にとって、安心して店舗やサービスを利用できる環境の提供を推進します。

（※）ひらかた健康優良企業：従業員の健康づくりに取り組む企業として市に登録する制度

【認知症理解のための働きかけ】

実施日	企業名	参加人数 (うち web 参加人数)
令和7年1月29日	(株) 松井製作所	66人 (62人)
令和7年2月6日	フジケミ近畿 (株) 枚方工場	10人 (3人)
令和7年2月14日	日本ペイント・オートモーティブ コーティングス (株)	37人 (24人)
合 計		113人 (89人)

【参加者の声】

・介護をするときの心構えだけではなく、自分が発症しないために今できることを知ることができたので、とても参考になった。など

【企業担当者の声】

・社内の健康経営推進では生活習慣もテーマとして含めておりますので、認知症も絡めて進めていきたいと思っております。など

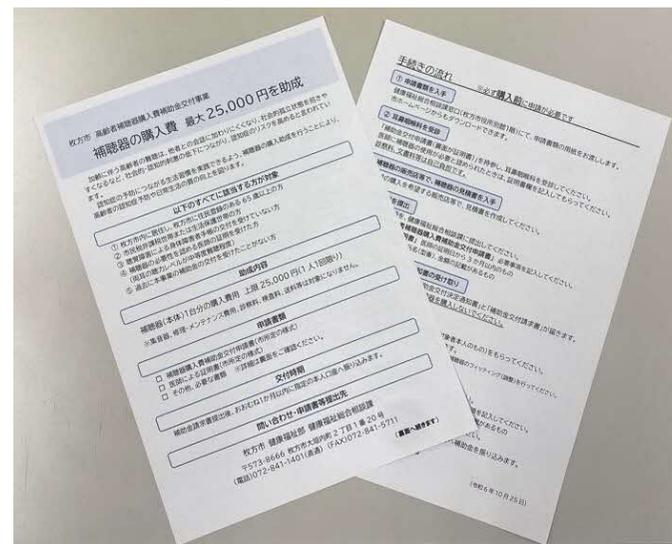
②認知症予防の取組

○加齢性難聴に対する補聴器購入助成

加齢に伴う高齢者の難聴は、他者との会話に加わりにくくなり、社会的孤立状態を招きやすくなるなど、社会的・認知的刺激の低下につながり、認知症のリスクを高めることから、認知症の予防につながる生活習慣の実践を支援するため、令和6年（2024年）10月から「補聴器購入助成事業」を開始しました。事業開始以降、利用の希望や申し込み手続きに関する相談など、多くの問い合わせを受けており、令和6年度（2024年度）は、6か月で48件の申請がありました。

今後については、引き続き、補聴器購入助成事業のさらなる普及啓発とともに、対象者の拡充等について、他市の実施状況の調査を行うなど、高齢者の認知症予防や日常生活の質の向上に努めます。

▼補聴器購入助成事業の案内チラシ



③認知症の早期発見とフォロー

ア. 「脳の健康度測定」（早期発見）の取組

I) 枚方市医師会とエーザイ株式会社との三者連携

「かかりつけ医」や「認知症サポート医」の窓口となる「枚方市医師会」及び、認知症関連の社会貢献活動を展開するとともに認知症治療薬の開発を手掛ける「エーザイ株式会社」との「三者連携協定」を締結し、自分の脳の健康状態に関心を持つ機会を得ることにより生活習慣を見直すなどの行動変容の機会とすることや、認知機能の低下が疑われる方を把握し、市の介護予防事業等への参加を促すなど、必要な方を適切に社会・医療資源につなぐことを目的として、デジタルツール「のうKNOW」を活用した「脳の健康度測定」を実施するとともに、認知症関連協力医療機関一覧の作成等を行いました。

今後も継続して「脳の健康度測定」を実施するとともに、認知症関連協力医療機関の一覧の更新等を行いながら、認知機能の低下の早期発見・早期支援に努めていきます。



◇三者連携の内容

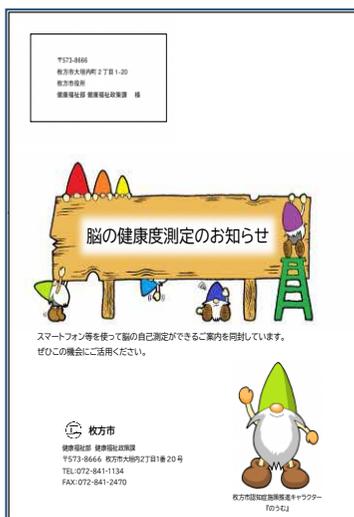
- ・ 認知症、軽度認知障害に関する理解促進
- ・ 認知症の予防、早期発見に関する取組の推進
- ・ 認知症の方を地域で支える仕組みづくり

Ⅱ) 「脳の健康度測定」の個別測定

令和7年(2025年)1月30日に、65歳、68歳、71歳の12,742人の市民を対象に、認知症や相談先等に関するご案内とともに、自身のスマートフォン等を使い自己測定ができる個別二次元コードを郵送しました。実績は、自己測定実施者1,531人、実施率12.0%となりました。

引き続き、今年度に65歳、68歳、71歳になられる市民を対象にご案内するとともに、対象となられる多くの方に自己測定いただけるよう、周知啓発に取り組みます。

▼宛名



▼個別二次元コードを記載した測定案内



▼測定の実施方法・結果の見方説明書



▼認知症の簡単解説



▼相談支援先等のお知らせ



▼ブレパサイズ (エーザイ株式会社発行: 脳の活性化に係る案内)



▼認知症関連協力医療機関一覧



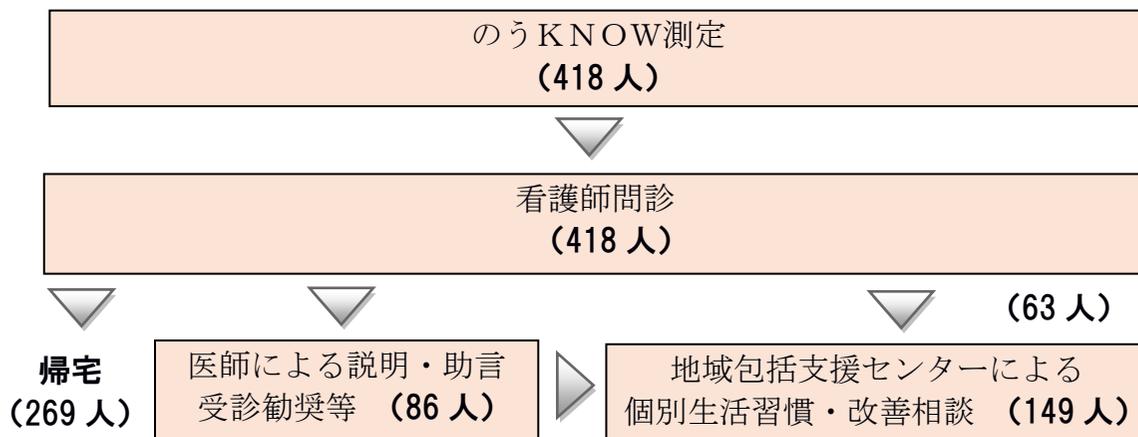
Ⅲ) 「脳の健康度測定」の集団測定

令和7年（2025年）3月4日から8日の計5日間、ラポールひらかたにおいて、事前申込制で、40歳以上（介護保険被保険者）の市民を対象とした、集団による健康度測定を実施しました。

会場では測定に加え、看護師による問診、医師による結果説明や助言、介護予防に関する動画視聴などを含めたプログラムを実施し、42歳から92歳の418人が参加しました。

今年度におきましても、自身のスマートフォン等を活用した自己測定とあわせ、集団による健康度測定を実施します。

【集団測定の流れ】



【参加者の年代別人数】

40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
19人	54人	111人	176人	56人	2人



▲測定会場の様子



▲介護予防に関する動画視聴の様子

IV) 測定後のフォローアップ

【個別測定】

認知機能低下のリスクがある記憶力スコアが「B」であった149人に対して、令和7年(2025年)4月から開催する大阪精神医療センターの医師などの医療専門職による「こころとからだ生き生き教室」の案内とともに、健康的な生活習慣に関するチラシを送付しました。

また、認知機能の維持向上のための活動を取り入れる支援の必要がある記憶力スコア「C」であった32人に対しては、地域包括支援センターによる訪問等の個別支援にて、受診案内や認知症初期集中支援チームの紹介等の支援を行います。

【集団測定】

記憶力スコア「B」は48人、「C」は17人であったものの、測定後の看護師の問診を経て86人が医師による説明・助言、受診勧奨等の相談ブースを利用し、149人が地域包括支援センターによる個別生活習慣・改善相談ブースを利用しました。

地域包括支援センターによる相談ブースでは、当日の相談・助言で終了した人が132人、地域包括支援センターで継続的に支援する人が10人、地域包括支援センターによる訪問等の個別支援が必要な人が7人となりました。

■デジタルツール「のうKNOW」測定結果

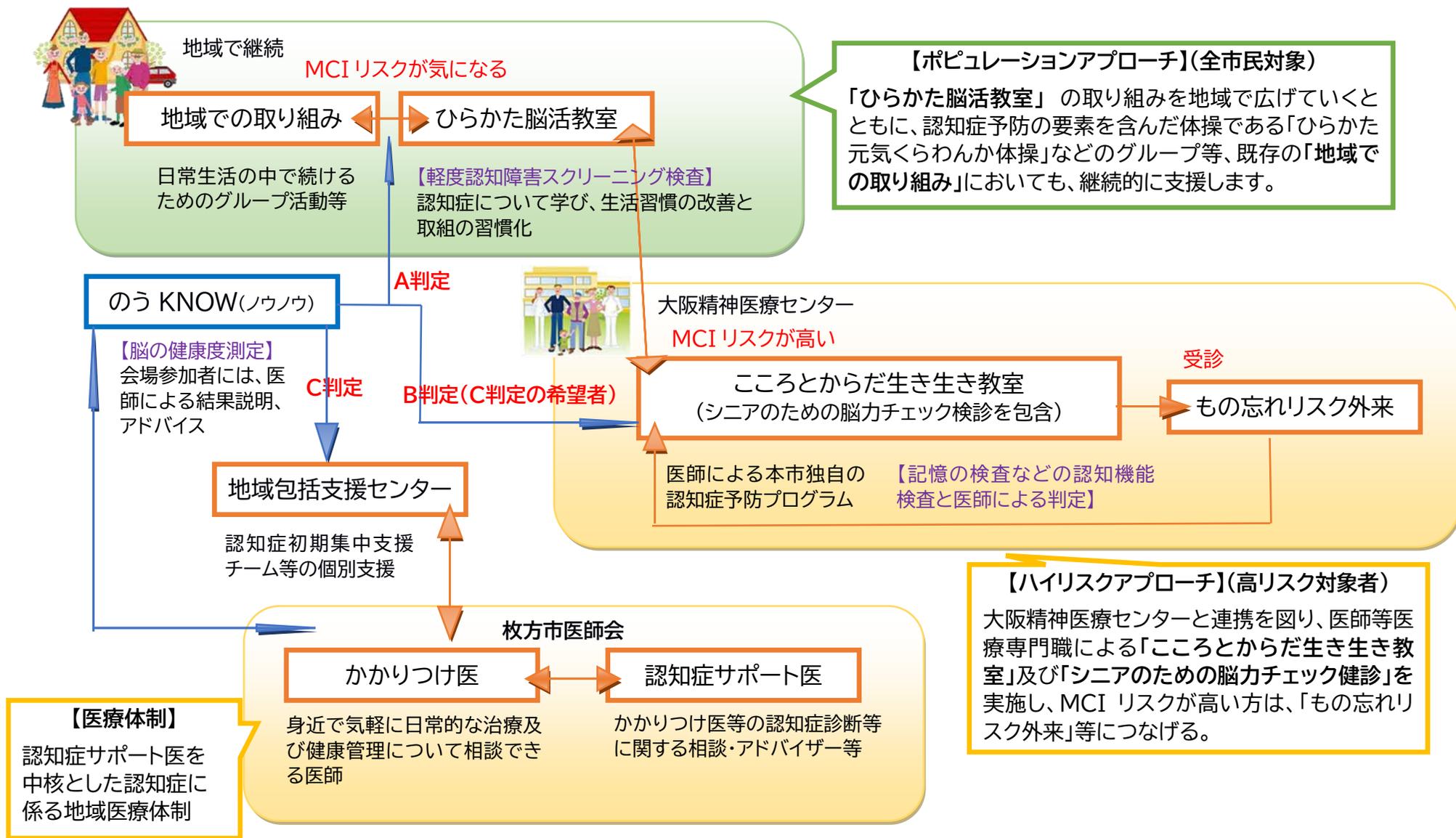
個別測定(1,531人)	集団測定(418人)
A:1,277人 B:149人 C:32人 ※測定結果出ず73人	A:352人 B:48人 C:17人 ※測定結果出ず1人

※「測定結果出ず」は、測定途中で離脱された場合や、時間がかかりすぎたことなどによるものです。

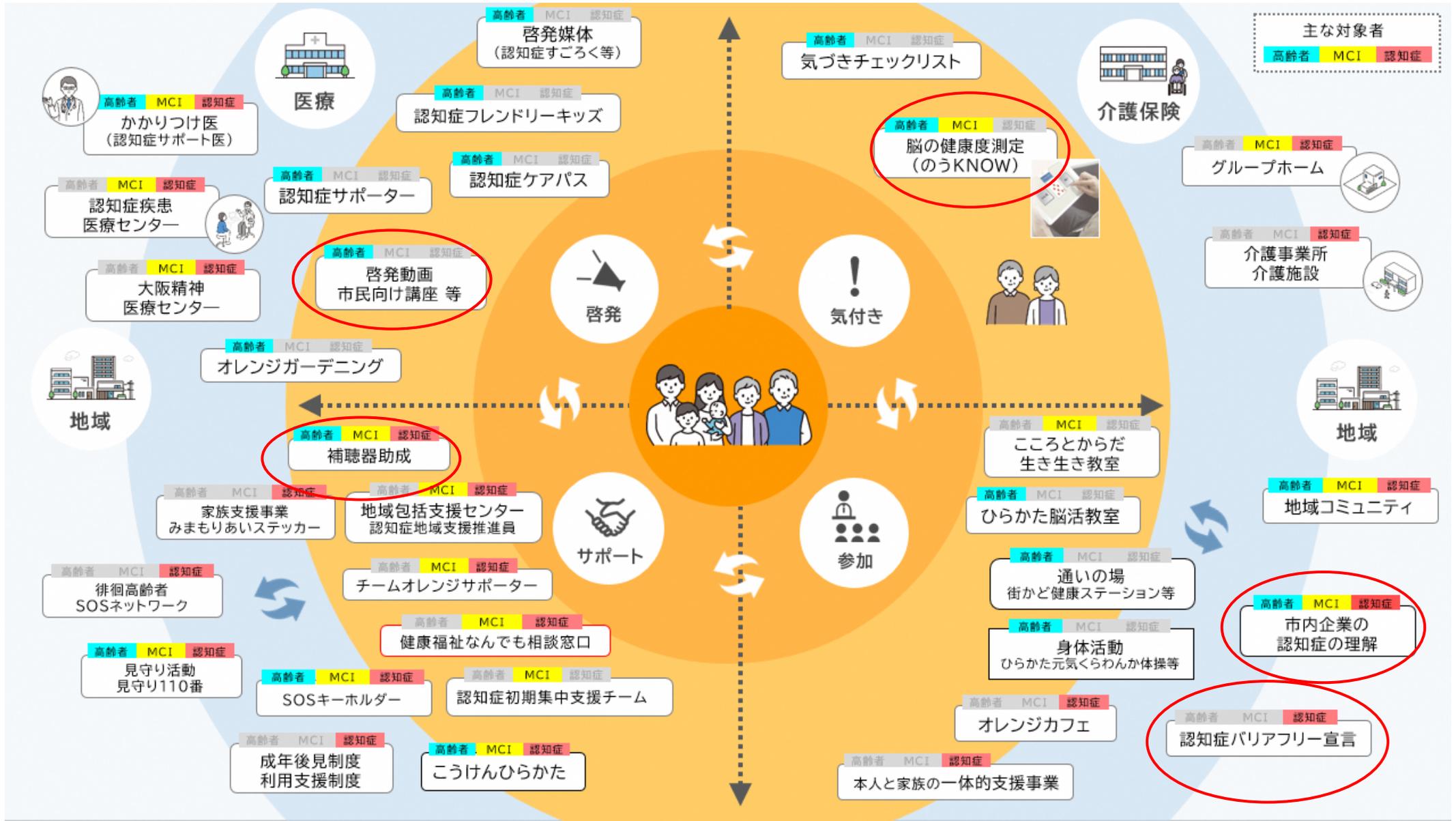
今後も、健康的な生活習慣を身につけ継続できるよう、引き続き認知機能の低下の早期発見・早期支援を行っていきます。

《参考》認知症に関する知識の普及啓発や早期発見体制のイメージ図

(令和6年8月26日市民福祉委員協議会資料、一部修正)



■本市の認知症施策のイメージ図



(2) 権利擁護の推進

身寄りのない高齢者が、住み慣れた地域で最後まで安心して生活ができるよう、権利擁護支援の一環として、令和6年(2024年)10月から「見守り」「身元保証の代替支援」「死後事務委任」などの支援を組み合わせた「ひらかた縁ディングサポート事業」を開始しました。

事業開始から6か月が経過する中で、多くのご相談を受けるものの、対象となる要件の一部を満たさないため、利用に至らない方が多くおられることから、令和7年(2025年)4月から一部要件を緩和し、対象者の拡充を行ったところです。今後におきましても、引き続き事業の進捗状況を確認しながら、必要な取組を検討していきます。

①延べ相談件数・申請件数

令和6年度(2024年度)	延べ相談件数	137件	・申請件数	3件
令和7年度(2025年度)	延べ相談件数	54件	・申請件数	2件(令和7年(2025年)4月30日現在)

②令和7年(2025年)4月からの要件変更内容(※下線部分)

	変更前	変更後
対象者	市民税非課税で一定額以下の所得(預貯金500万円以下)で、契約能力を有し、契約時に預託金が準備できる方	市民税非課税世帯、もしくは税と健康保険料等を除いた本人の月収額(収入が就労による場合は就労先までの交通費を含まない月収額)が16万円以下(同控除前の月収額の場合は20万円以下)で預貯金500万円以下
	不動産を有していない方	不動産を有していない方(現在居住している自分名義の不動産は除く)
預託金の納入方法	預託金は原則一括で納入(家財処分に係るものは分割可)	一括での預託が難しい場合に限り、すべての預託金について分割での納入可

※令和6年度に対象とならなかった相談者のうち、令和7年度からの要件緩和で対象となる方については、改めて連絡しています

(3) 「街かど健康ステーション」の取り組み

令和6年（2024年）4月から、高齢者が身近な場所で介護予防につながる活動に取り組むことができる、新たな介護予防拠点「街かど健康ステーション」を、既存の「街かどデイハウス」9か所に設置しました。運営上の課題を共有しながら、一つ一つの声に丁寧に対応するとともに、なお一層「介護予防拠点」としての機能が発揮できるよう、令和7年度（2025年度）は、各取組に要する時間や回数及び人員配置等を考慮した業務内容及び委託単価の設定の変更を行いました。引き続き、「介護予防拠点」としての機能をしっかりと発揮できるよう、支援と進捗管理に努めます。

①令和6年度（2024年度）実績

利用者実人数	-	1,222人
	回数	延べ人数
個人への健康相談等	362回	-
グループ相談件数	153回	-
体力測定	383回	1,706人
ポール貸与	-	29人
DVDを活用した運動教室 (うち、出前講座)	2,277回 (35回)	12,128人 (393人)
オンライン介護予防教室 (うち、出前講座)	1,592回 (2回)	7,656人 (17人)

相談窓口

健康や介護予防に関する相談を受け付けています。必要があれば関係機関につなぎます。



クラブの立ち上げや継続をサポート

活動場所を探している、趣味仲間をみつけないなど、地域で活動ができるようにサポートします。



ノルディックポールの体験・貸出

ノルディックポールを使用した体操のオンライン教室体験を実施しています。ウォーキングにも活用できます。



運動教室・体力測定・介護予防教室

数種類あるプログラムから自分のレベルに合わせて参加できます。定期的な体力測定もおすすめ。出前講座も行っています。



【様々な取り組み】



【ブランディングによる周知啓発】



【商業施設など様々な場所での啓発活動】

③街かど健康ステーションの増設

「街かど健康ステーション」は13の日常生活圏域に1カ所ずつの設置をめざしています。

令和7年（2025年）4月から、新たに2カ所開設し（11カ所整備済み）、残りの2カ所につきましては、令和8年（2026年）4月からの開設に向けた準備を進めます。

ちょっと運動したい！ 誰かと交流したい！ 趣味をはじめたい！ かなう場所が枚方市内に！
自宅近くでも、職場近くでも、通いやすい「街かど」を見つけてください。

□ : 7年度開設
□ : 7年度募集

参加方法
① 電話でのお問い合わせ (平日10:00~16:00) → ② 見学/体験 → ③ 定期的な利用

A 街かどデイハウス なみき 住所 精華並木1-30-3 藤原 川 TEL 072-865-5504 FAX 072-865-5504	B ぽくとステーション御殿山 街かど「てくてく」 住所 清南町25-28-104 御殿山駅 TEL 072-848-0061 FAX 072-848-0061	C 街かどデイハウス 横丁サロン 住所 甲斐田東町28-6 甲斐田東町 TEL 072-805-0605 FAX 072-805-0605
D 街かどデイハウス 藤阪愛達 住所 藤阪元町2-27-1 藤阪ハイヴ TEL 072-855-2001 FAX 072-855-2001	E 街かどデイハウス 枚方駅前わくわく 住所 三矢町2-2 枚方市駅 TEL 072-844-3751 FAX 072-844-3751	F 街かどデイハウス 多・宝・夢「ひろば」 住所 池之宮2-6-10 池之宮 TEL 072-849-5344 FAX 072-849-5344
G 街かどデイハウス 人と木 住所 北中橋1-19-28 光華寺駅 TEL 072-865-1858 FAX 072-865-1858	H 街かどデイハウス さつきが丘 住所 山之上西町28-51 南さつき丘 TEL 072-843-3539 FAX 072-843-3539	I 街かど 「てくてく高田」 住所 高田2-16-9 高田 TEL 072-860-2231 FAX 072-860-2228
J 介護老人保健施設 美杉 住所 西沼橋町2166 美父ヶ丘 TEL 072-866-7111 FAX 072-866-7110	K 泉の湯内 エール・フィット 住所 津田山手1-24-1 美父ヶ丘 TEL 072-808-2351 FAX 072-808-2361	街かど健康ステーションに関する問い合わせ 枚方市健康福祉部健康づくり課 TEL 072-841-1458 072-841-3039(代表) www.city.maishima.lg.jp/healthstation

3. 総合計画等における根拠・位置付け

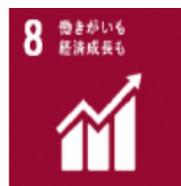
総合計画

基本目標 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち

施策目標 6 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち

施策目標 9 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち

施策目標 20 いきいきと働くことのできるまち



4. 事業費・財源及びコスト

(1) 令和7年度(2025年度)当初予算(一般会計)

	認知症施策	権利擁護事業	街かど健康ステーション
事業費	認知症施策推進事業経費 19,990千円 (印刷製本費373千円、 通信運搬費3,723千円、 委託料15,894千円)	持続可能な権利擁護支援事業 経費 6,526千円(委託料)	街かど健康ステーション事業 経費 39,000千円(委託料) (@3,000千円×13か所)
	補聴器購入助成事業経費 3,750千円(補助金)		
財源	一般財源	生活困窮者就労準備支援事業 費等補助金 4,894千円(補助率3/4)	一般財源

(2) 令和7年度(2025年度)当初予算(介護保険特別会計)

〈事業費〉 「こころとからだ生き生き教室」4,005千円

(内訳) 運営委託料3,984千円、通信運搬費21千円

〈財源〉 国・府・保険料 87.5% 一般財源 12.5%